

鋁工業指数 参考図表集

(平成26年11月確報)

平成27年1月19日
経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成26年11月(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	97.9	97.2	112.5	117.0
前月比	▲ 0.5%	▲ 1.4%	1.1%	4.2%
指数水準	H26.8 95.2以来 ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H26.8 93.9以来 ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	H26.8 112.6以来 I H20.12 119.8 II H21.1 119.5 III H20.11 119.1	H26.8 118.5以来 I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	3か月ぶり▲ (H26.8以来)	3か月ぶり▲ (H26.8以来)	3か月ぶり+ (H26.8以来)	2か月連続+ (H26.10~当月)
前月比幅	H26.8 ▲1.9%以来 ①H23.3 ▲16.5% ②H21.1 ▲8.8% ③H21.2 ▲8.6%	H26.8 ▲2.1%以来 ①H23.3 ▲15.7% ②H21.1 ▲9.5% ③H20.12 ▲7.1%	H26.6 2.0%以来 I H23.5 4.7% II H26.5 3.0% III H24.3 2.5%	H26.8 8.6%以来 I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	▲ 3.7%	▲ 4.5%	6.5%	12.2%
前年同月比の動き	2か月連続▲ (H26.10~当月)	2か月連続▲ (H26.10~当月)	7か月連続+ (H26.5~当月) ・直近で7ヶ月連続+超 22か月連続+ (H23.5~H25.2)	4か月連続+ (H26.8~当月) ・直近で4ヶ月連続+超 10か月連続+ (H24.6~H25.3)
前年同月比幅	H25.6 ▲4.7%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H25.6 ▲5.2%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	H22年基準 V H24.4 12.1%以来 I H24.3,4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H23.5 20.8%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

- ▲はマイナス
- I ~ IIIは22年基準における最大値から3位まで、①~③は最小値から3位までの順位
- 【 】内は22年基準以外
- シャドー部分は速報時と変更となった箇所

平成26年11月 稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率	能力
季調済指数	99.8	94.9 (原指数)
前月比	▲ 0.8%	0.0%
指数水準	H26.8 96.4以来 ①H21.2 69.3 ②H21.3 70.3 ③H21.4 77.2	①22年基準最低水準継続 ①H26.10, 11 94.9 ②H26.7, 8, 9 95.0 ③H26.6 95.1
前月比の動き	3か月ぶり▲ (H26.8以来)	
前月比幅	H26.8 ▲1.7%以来 ①H23.3 ▲21.7% ②H21.1 ▲12.0% ③H21.2 ▲11.3%	
前年同月比(原指数)	▲ 1.7%	▲ 2.4%
前年同月比の動き	3か月ぶり▲ (H26.8以来)	37か月連続▲ (H23.11～当月) 50か月連続+なし (H22.10～当月) ・直近で上記を超える連続▲ 【H11.2～H17.4 75か月連続▲】
前年同月比幅	H25.6 ▲2.9%以来 ①H21.2 ▲43.9% ②H21.3 ▲40.5% ③H21.1 ▲35.0%	①22年基準最大低下幅 ①H26.11 ▲2.4% ②H26.10 ▲2.3% ③H21.7, 8 ▲2.1%

1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの順位

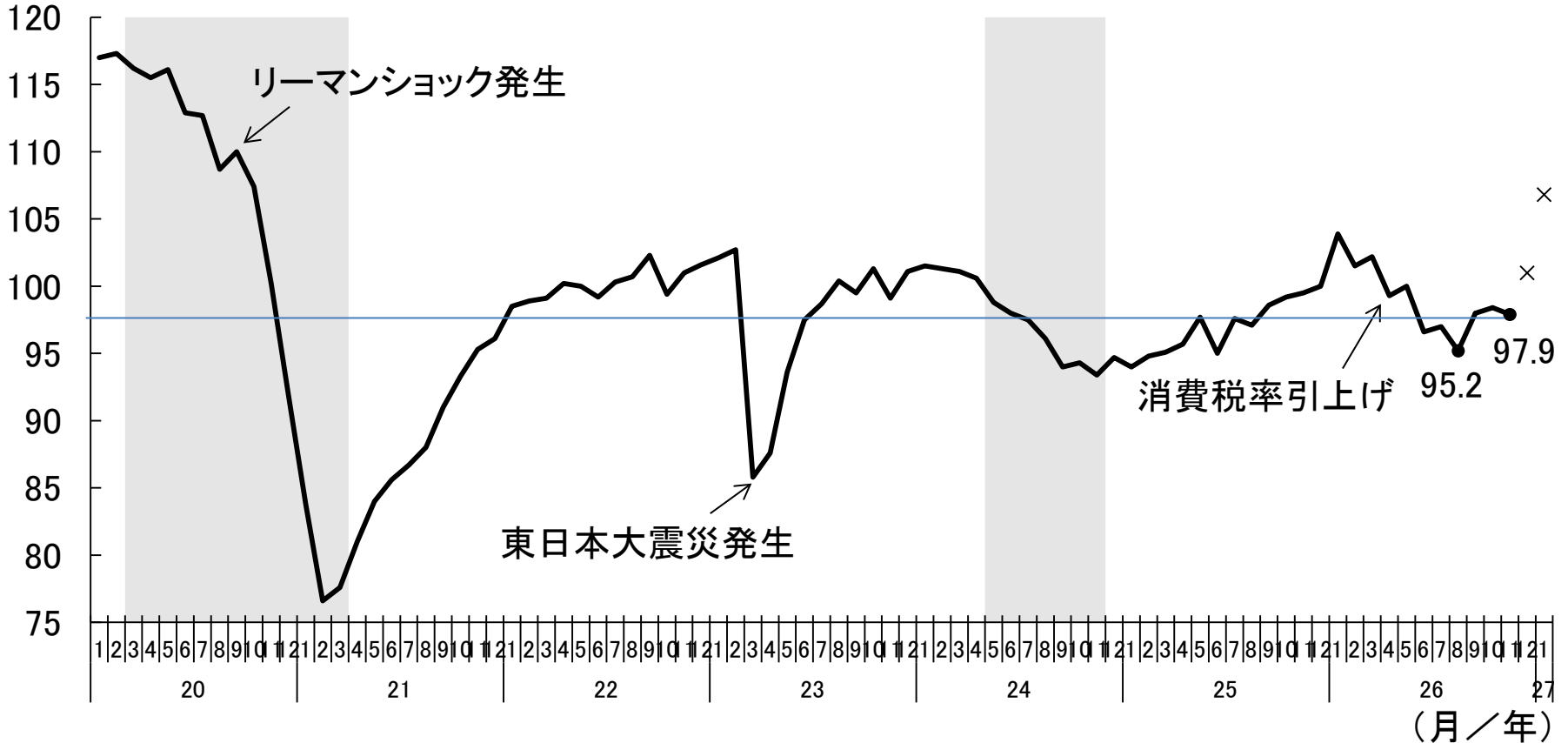
3) 【 】内は22年基準以外

○ 鉱工業生産 (IIP)

鉱工業生産指数の動向

- 平成26年11月の生産指数は97.9(前月比▲0.5%)と3か月ぶりの低下。
- 平成26年8月の95.2以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

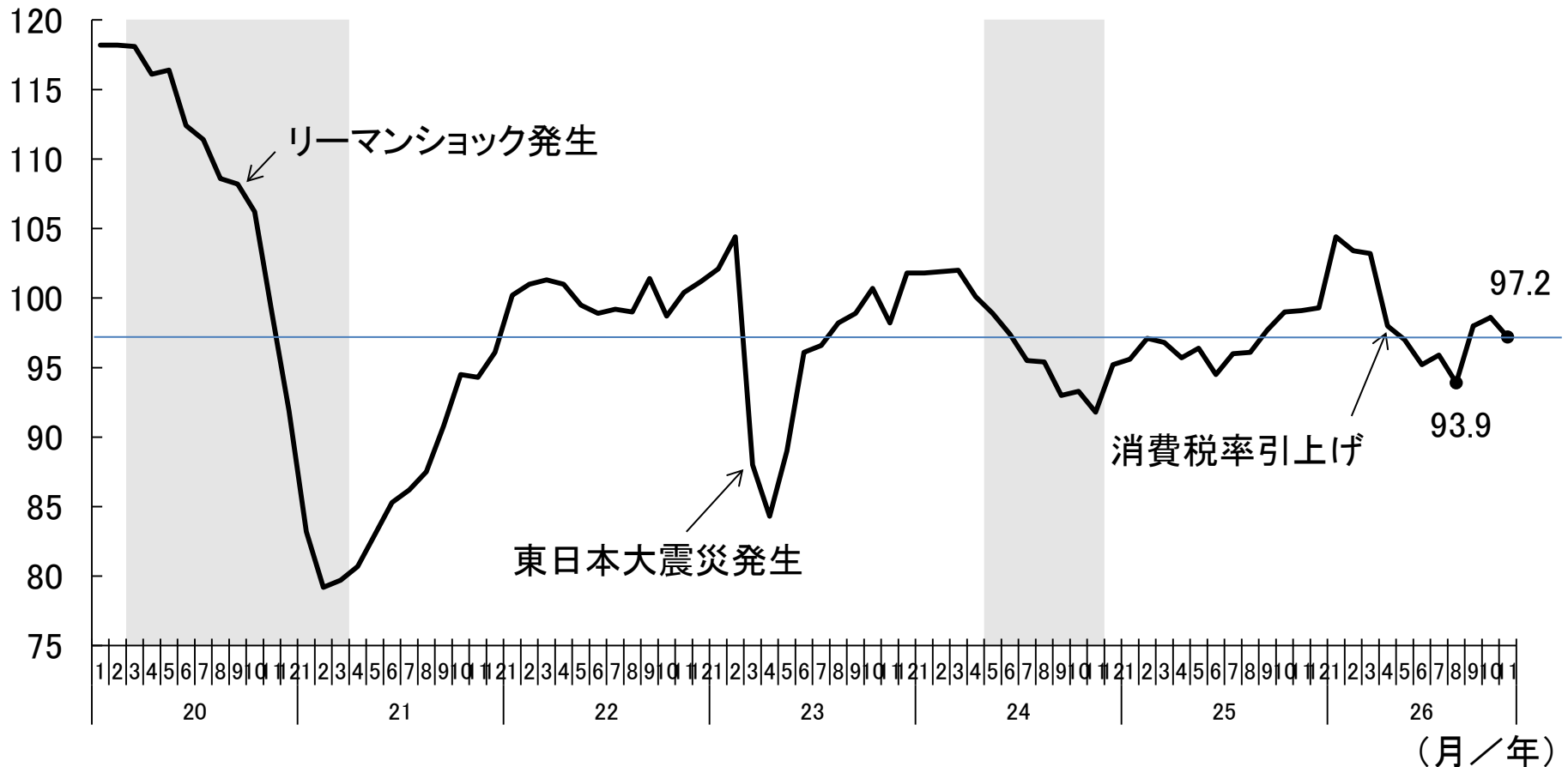


- (注) 1. 鉱工業指数 (IIP) とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年 (現在は平成22年) の12か月平均 = 100 として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. ×は「製造工業生産予測調査」における2か月の前月比の値を鉱工業生産指数にあてはめて計算した予測値。
 3. シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

鋳工業出荷指数の動向

- 平成26年11月の出荷指数は97.2(前月比▲1.4%)と3か月ぶりの低下。
- 平成26年8月の93.9以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

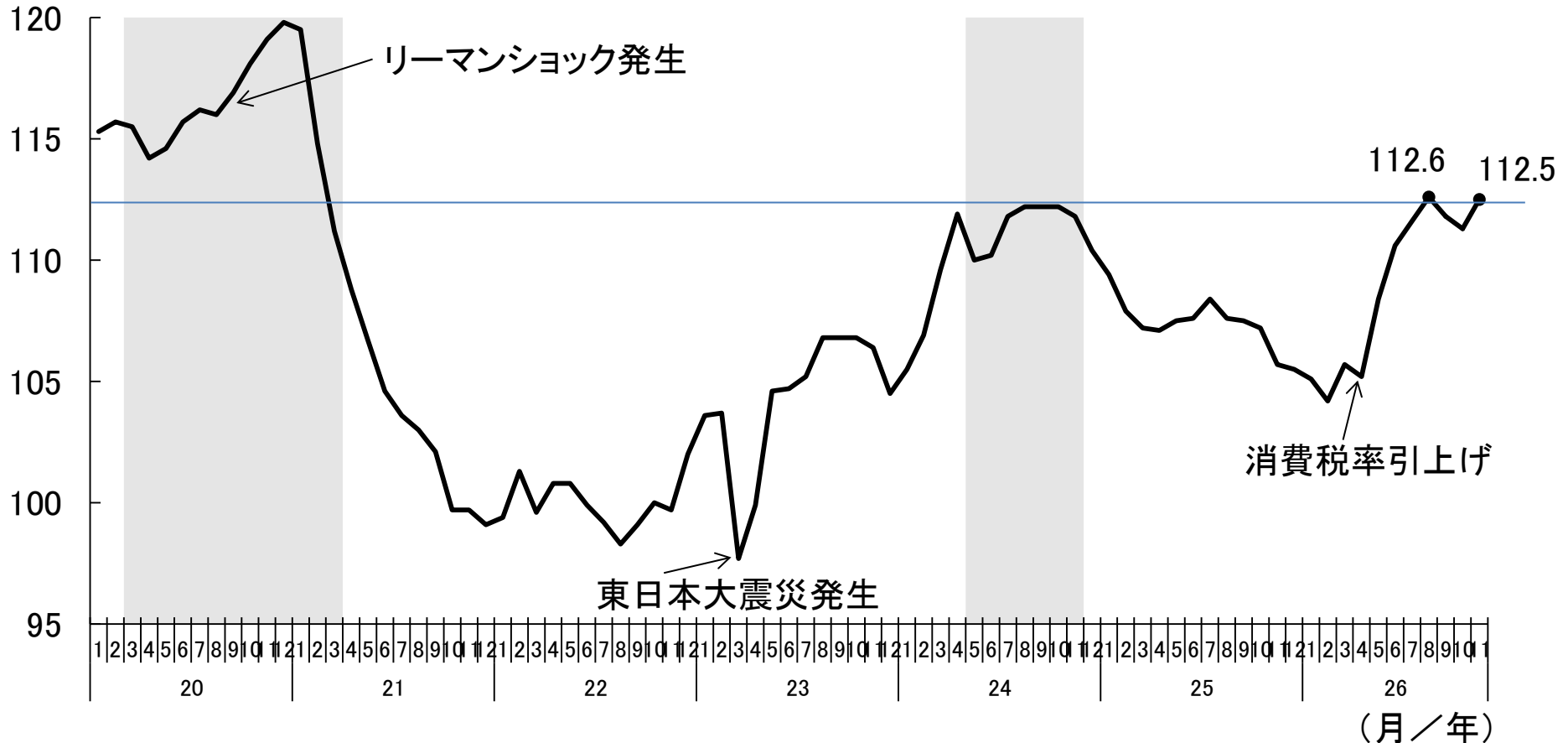


(注)シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

鋳工業在庫指数の動向

- 平成26年11月の在庫指数は112.5(前月比1.1%)と3か月ぶりの上昇。
- 平成26年8月の112.6以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

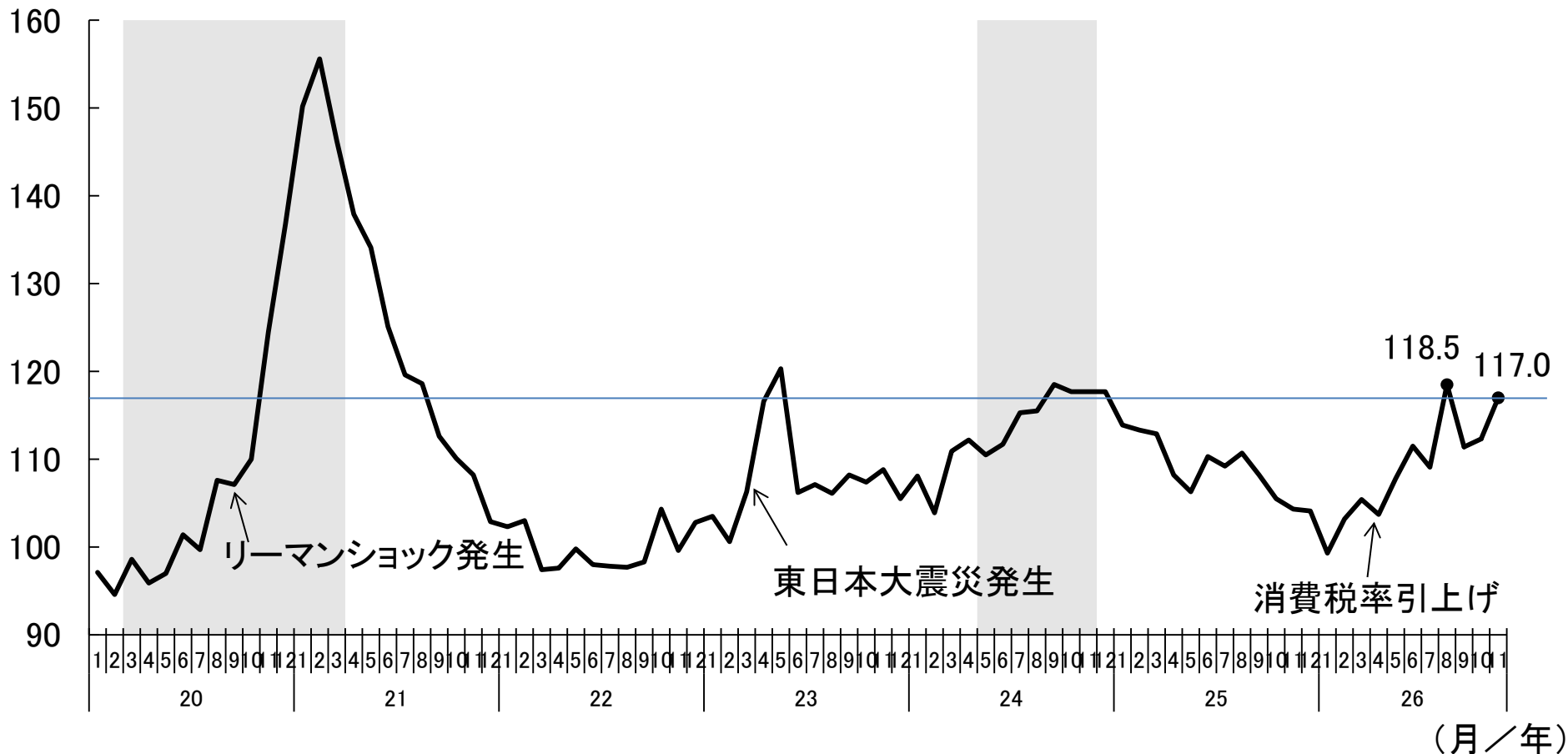


(注)シャド一部分は景気後退局面。24年5月~11月は暫定。

鉱工業在庫率指数の動向

- 平成26年11月の在庫率指数は117.0(前月比4.2%)と2か月連続の上昇。
- 平成26年8月の118.5以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

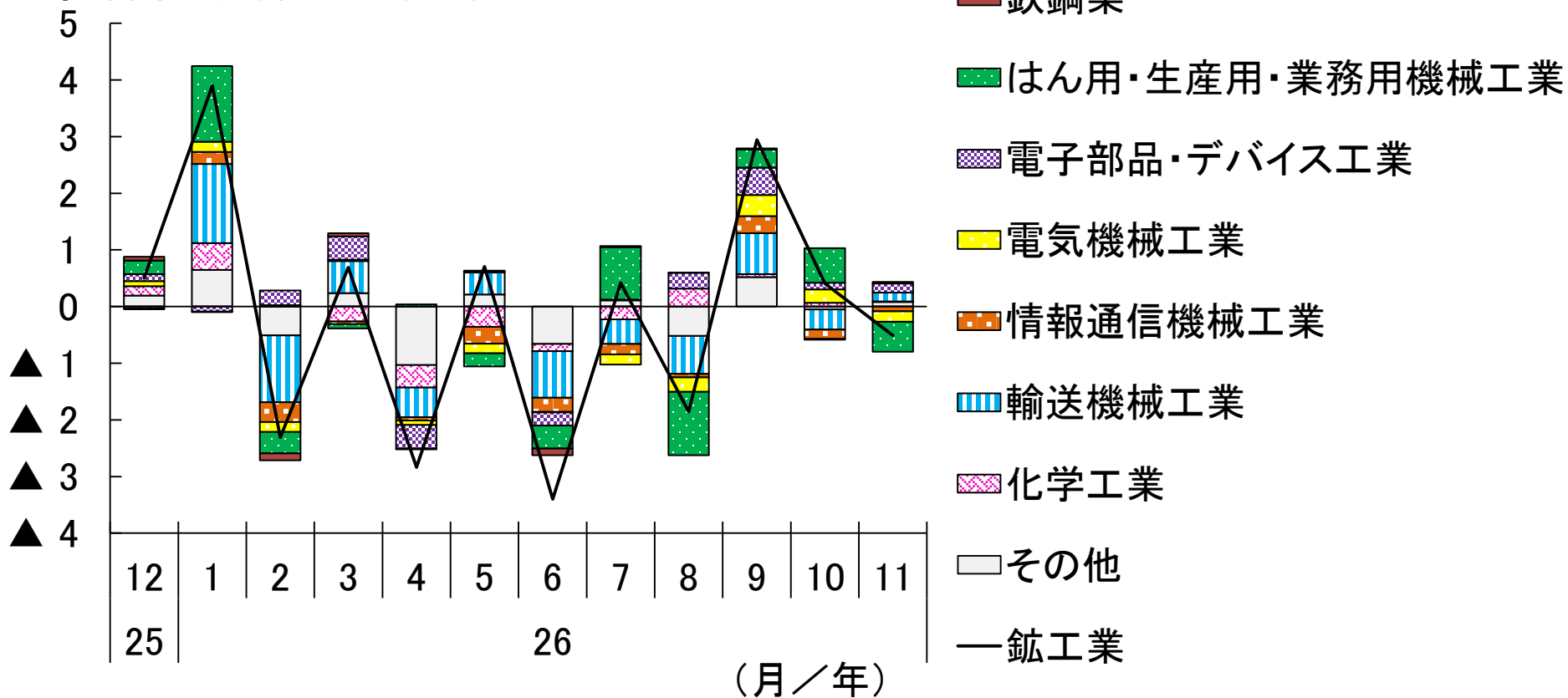


(注)シャド一部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

鉱工業生産への業種別寄与度分解

- 11月の生産指数(前月比、季節調整済)は、電子部品・デバイス工業などが上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したため、前月比▲0.5%の低下。

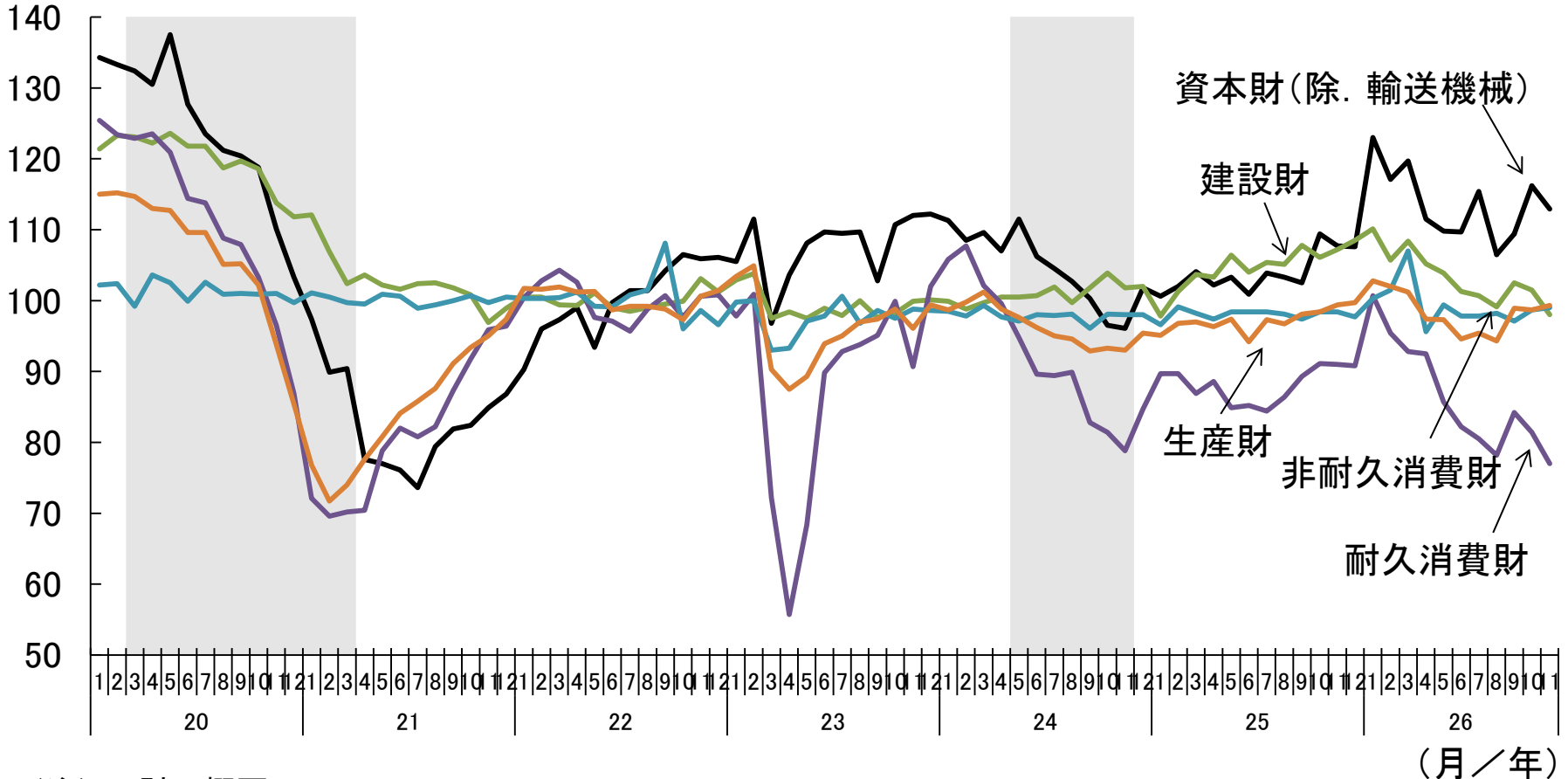
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



注:その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、食料品・たばこ工業、その他工業、鉱業が含まれる。

財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



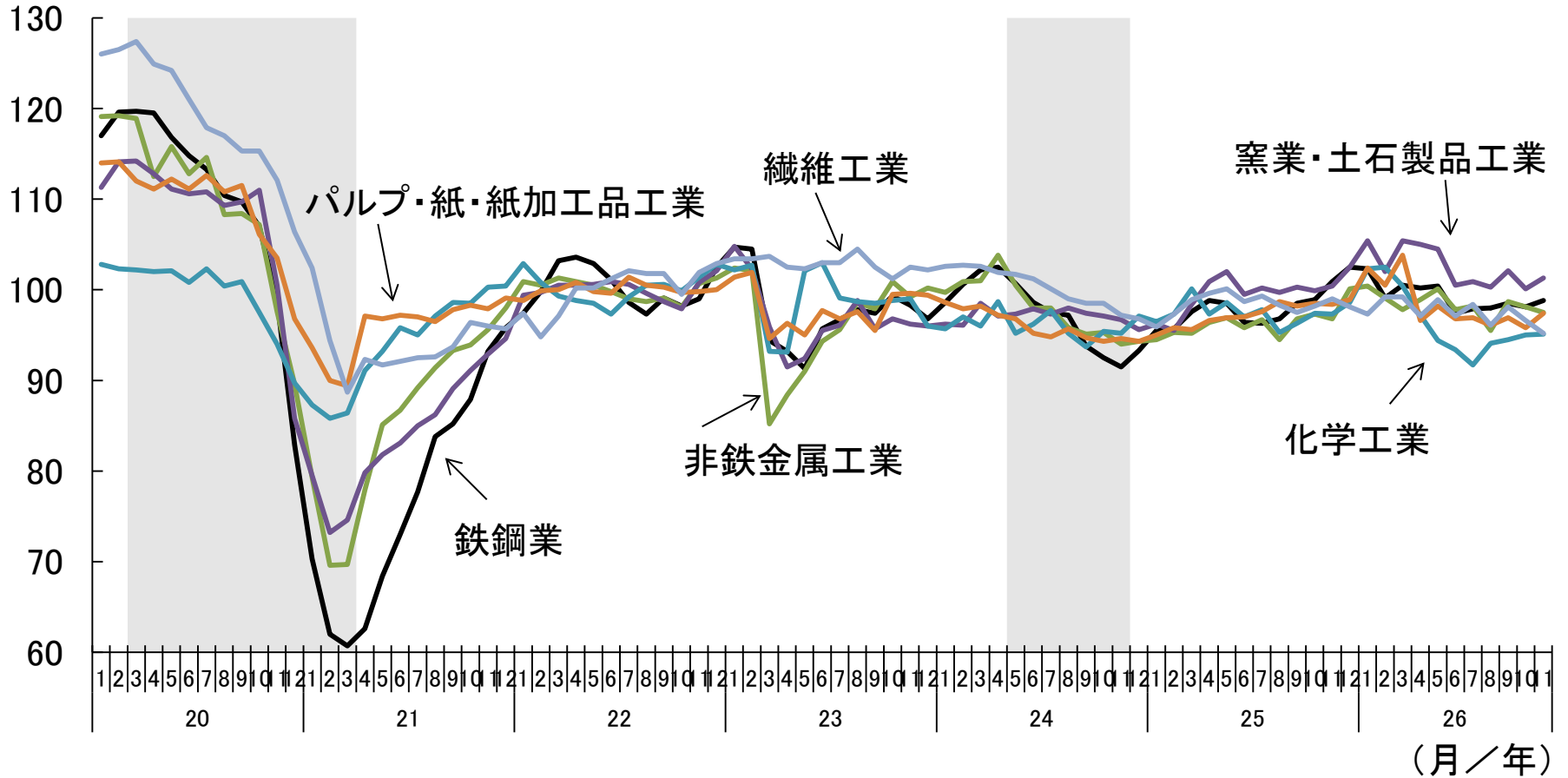
(注) 1. 財の概要

- ・資本財(除. 輸送機械): クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品
- ・建設財: 鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品
- ・耐久消費財: テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品
- ・非耐久消費財: 食料品や衣料品など家計で購入される製品
- ・生産財: 原材料として投入される製品

2. シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

素材型業種の生産指数動向

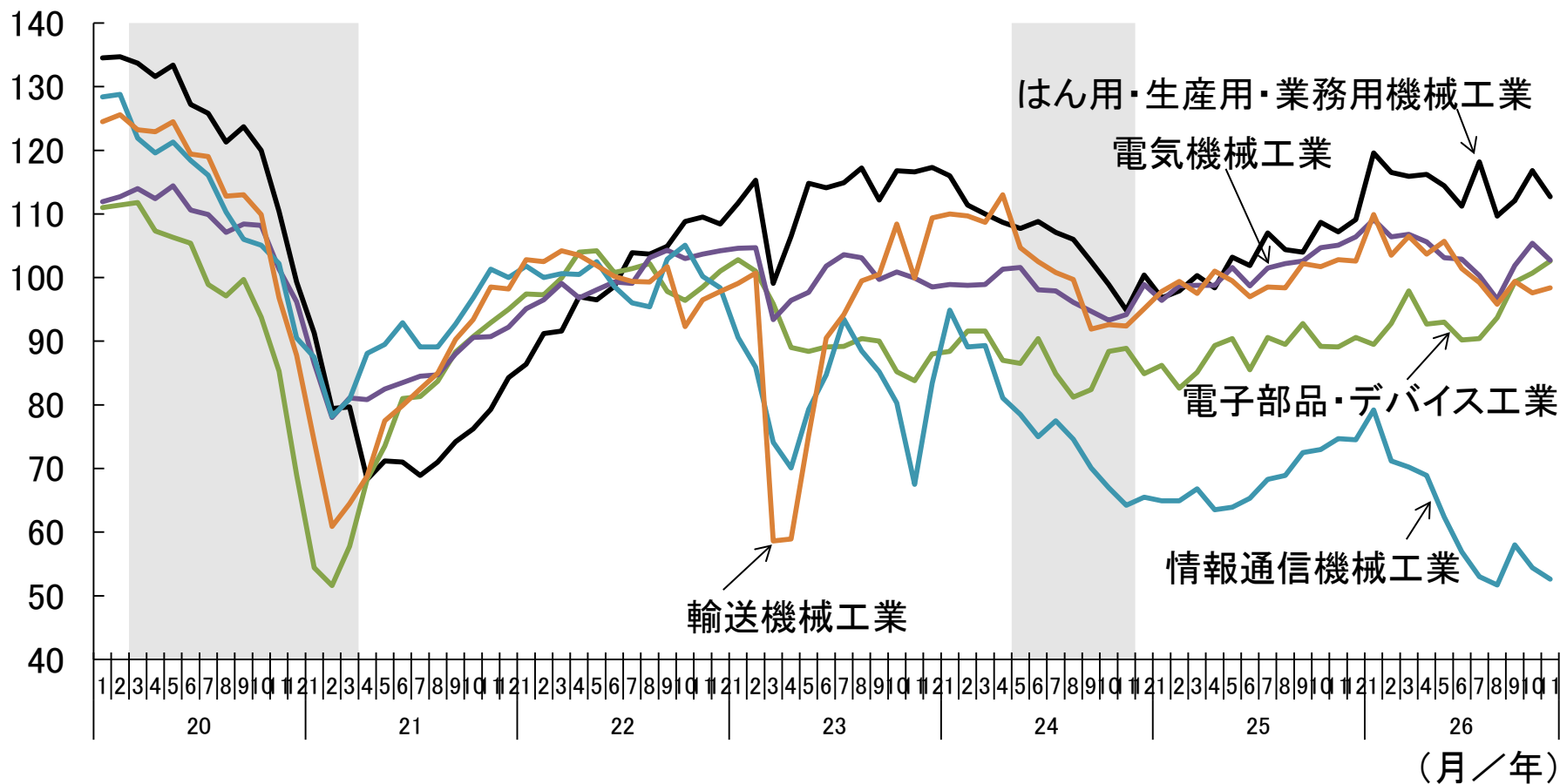
(22年=100、季節調整済)



(注)シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

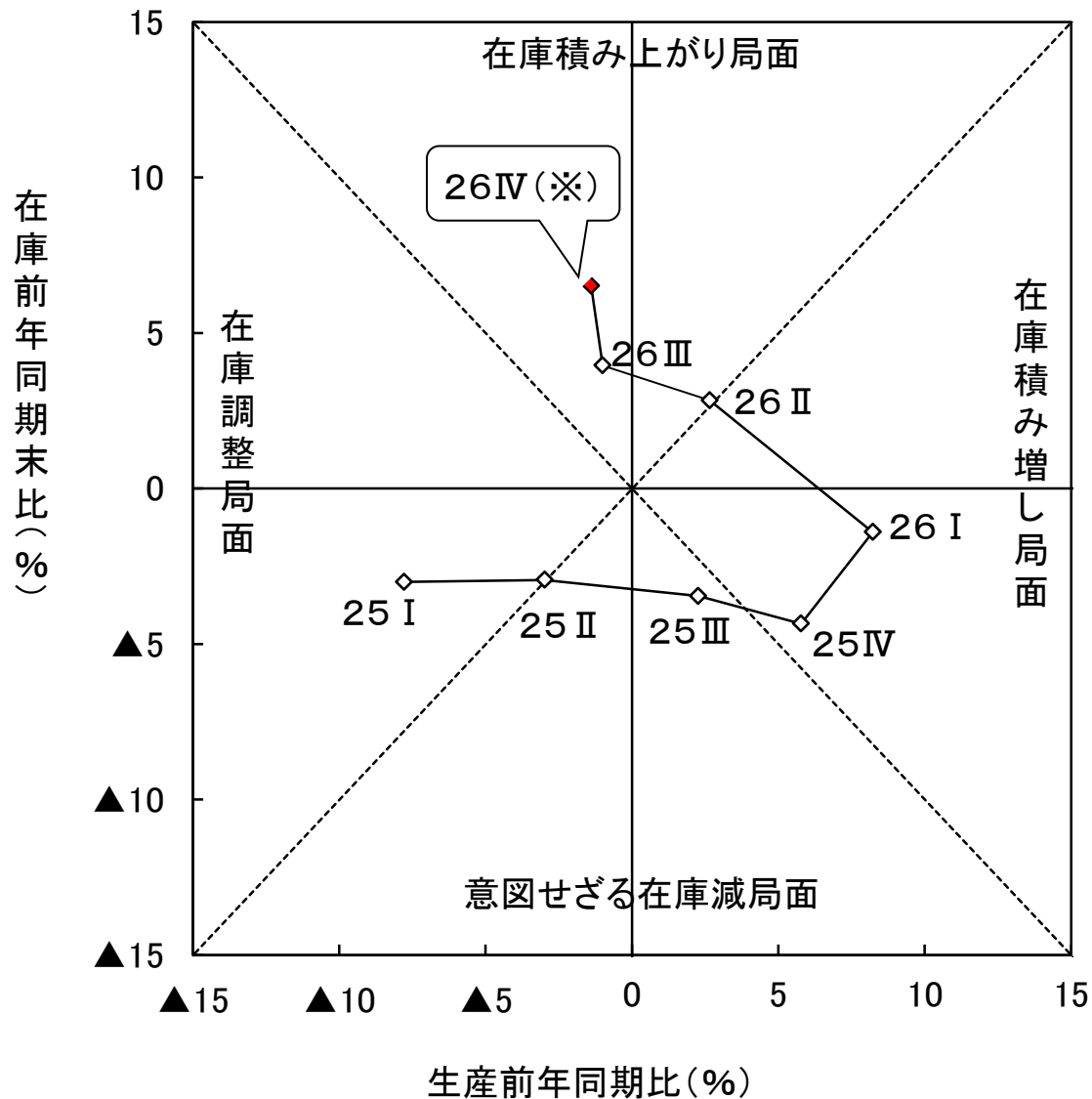
加工型業種の生産指数動向

(22年=100、季節調整済)



(注)シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

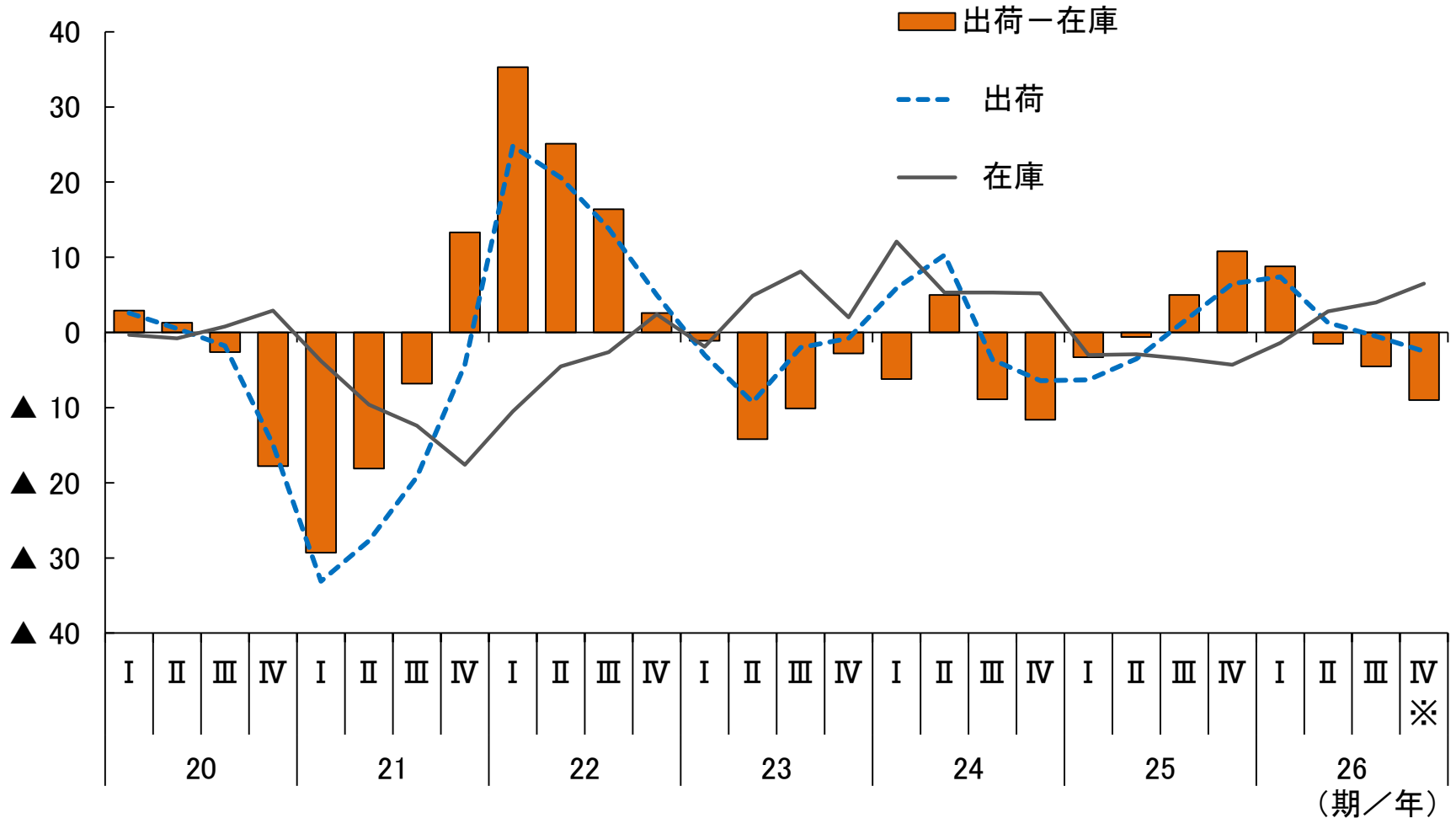
鋁工業の在庫循環図



(注) 26年Ⅳ期は、生産は26年10, 11月値の平均値を在庫は11月値を使用。

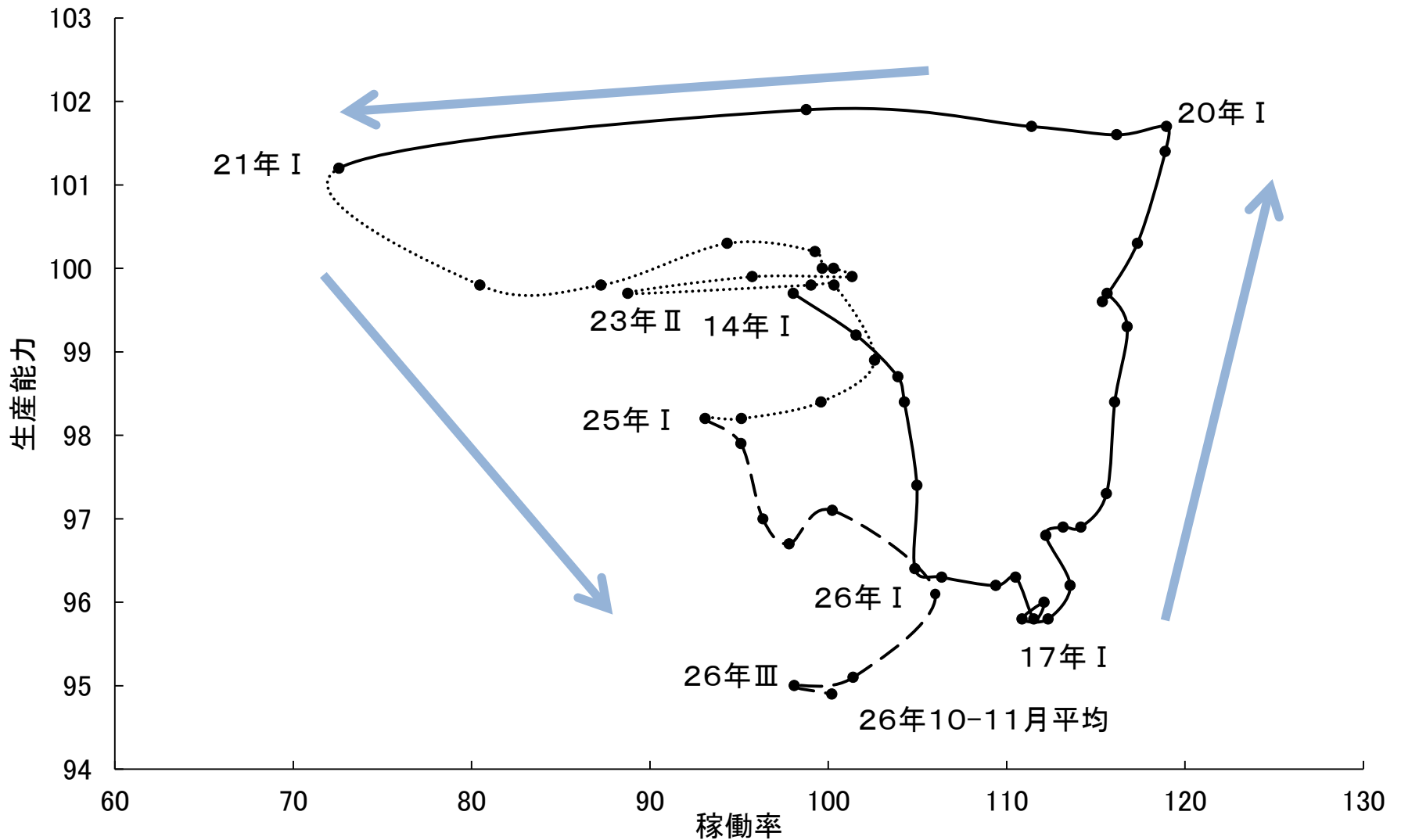
出荷－在庫バランス

(前年同期比、%、%ポイント)



- (注) 1. 出荷－在庫バランス＝出荷前年同期比－在庫前年同期比
 2. 26年IV期は、生産は26年10、11月値の平均値を在庫は11月値を使用。

生産能力－稼働率の循環関係(22年＝100)



注: 26年Ⅳ期の稼働率指数(暫定値)は、26年10, 11月値の平均値(季節調整済)。
同、生産能力指数(期末)は、26年11月末(原指数)。